周防大島で新規就農

▲新規就農者研修会・激励式に出席された新規就農者の皆さん

10月24日、久賀庁舎において新規就農者研修会が開催され、4月から新規就農をした5名の方へ、青年就農給付金（経営開始型）交付決定通知の交付が行われました。5名の新規就農者には、国の給付金を財源に農業を始めてから経営が安定するまでの最長5年間、給付金が支給されます。

また、来年度以降に町内で新規就農を目指す2名の研修生への激励式も開催され、町長より激励の言葉と記念品の授与が行われました。2名の方は今年度、先進農家や山口大島農業協同組合で就農前の研修を受けて、平成27年4月から就農する予定で、研修期間中は国の交付金などを財源に給付金が支給されます。

●青年就農給付金（経営開始型）5名　植木健一さん（かんきつ）、西村直久さん（かんきつ、野菜）、森川翔平さん（かんきつ）松本英也さん・千浪さん（かんきつ、ぶどう）●青年就農給付金（準備型）1名　中村栄典さん（かんきつ）●大島農業柑きつ就農支援事業　1名　上妻大希さん（かんきつ）

のんたウォーキング2014

10月18日、町陸上競技場において健康づくりや介護予防で注目されているノルディックウォークを体験する、「のんたウォーキング２０１４」が開催されました。

コースには町陸上競技場から片添ヶ浜までを往復する5㎞のコースも設定され、参加者は景色を楽しみながら汗を流しました。

▲ノルディックウォークで汗を流す参加者（５キロコース）

地域おこし協力隊
三浦宏之

「お役に立てれば、幸いです。」21

定住促進協議会日良居分室
☎０８２０（７３）０２３４

10月10日、和田の筏八幡宮を舞台に村上水軍研究会が主催する観月の宴が行われ、琵琶奏者・櫻井亜木子さんが「村上武吉を語る」、大島商船高等専門学校和太鼓同好会が「村上水軍太鼓」を披露。逗子ヶ浜の夜が醸し出す平安の趣きの中、約４００人が月と音楽を愛でる夜を楽しみました。地域おこし協力隊ということで少しお手伝いさせていただきましたが、村上水軍研究会の会員約20名のチケットを売るパワー、段取りの良さなど驚かされる場面が多く、さすがは様々なジャンルで活躍されてきた先輩方だと、感動を覚えました。「適当にね」という指示のもと司会も仰せつかりました。適当じゃ困るなと思いながらも、そこそこ適当になったかと。拙い司会にお付き合いいただきありがとうございました。

今年は美しい三蒲を創る会の植樹祭にはじまり、サタフラなど司会を担当させていただく機会が多く、東京時代は人前でお話することも苦手に感じていましたが、少しずつ楽しめるようになってきました。これもシマグラシの効能のひとつではないかと思います。

月イチ海岸清掃「島くらす海そうじ」ここ最近は毎月新しい移住者を紹介していて、それくらい多くの人が周防大島に移住していることを実感しています。今回は11月29日㈯午前8時から9時まで長浜で行います。今年3度目のトライになりますが、国道から目につくゴミが一番多い海岸だと思いますので、ご協力よろしくお願いします。

▲10月10日
観月の宴の様子

【Ｐ８ちょび塩クイズ答え：①日本人の３人に１人は高血圧といわれ、その数は４千万人以上です】